意見総数 9件(お寄せいただいたご意見には複数の内容が含まれていました)

ご意見	都の考え方
【事業計画に対する意見】	
行幸通りや仲通りのように、行きたくなる、居たくなる道路が昨今、街中に増えている。これらの道路の週末のにぎわいぶりを見るに、道路に求められる機能は、交通という本来的機能から、人々が滞在できる場、交流できる場、にぎわいの場といった「人を中心とした空間」としての機能に様変わりしているのだと思う。東京ストリートヒューマン1st事業においても、多様性をもつ人々が快適で質の高い道路を舞台にして日々の生活を楽しめ、コミュニケーションできる場として道路を創造してほしい。それには、道路だけ、行政だけではなく、沿道の都市開発やその事業者、地先住民らと早い段階からまちのあるべき姿を意見交換し、調和のとれたゴールを共有した上で整備を共に進めてほしい。	本事業は、拠点を形成するエリア等の路線において、令和3年度から10ヵ年でまちの景観に調和した道路の景観整備を行うものです。 事業の実施にあたっては、沿道や地域のまちづくりの状況に合わせ、歩道舗装や道路照明等について洗練されたデザインを検討し、地域住民や地元区市、沿道の開発事業者等と調整の上、整備いたします。今後、本事業により道路の景観整備を推進し、多様な人々が集う、首都東京にふさわしい快適で魅力あるみち空間の創出に取り組んでまいります。
首都東京の都市空間の形成する上で、景観への配慮はとても大事な要素だと思います。 沿道の公開空地や建築物のデザインがいくら優れていても、前面の道路が見窄らしいと街の景観を損ね ていると感じることがあります。 道路についても、単に経済性を優先するのではなく、魅力的な街並みを形成するためにも、今後より一層 景観に配慮した道路整備を進めていくべきだと思います。	
ヨーロッパでは、道路沿いの広告が規制されており、建物も統一感があり、景観的に素晴らしい街並みが作られています。 しかし東京は、看板やネオンなどで雑然としている感じがして仕方ないです。 ただ、東京駅や皇居の近くなどには、とても良い景観の道路があります。 私は、これからの時代は外国や日本中から人が来るので(今はコロナで少ないですが)皇居の周りなどを 手本にして、きれいで統一感のある道路にして、街や道路の価値をもっと上げるべきだと思っています。 ただ、直ぐには出来ないので、駅前の道路だとかに、優先順位を付けて、効率的にやるべきだと思います。	
東京駅の行幸通りのような整備もしてほしい。	
P3の整備事例のように、歩道舗装や道路照明だけでなく、沿道の店舗の看板や交通標識なども景観に配慮したデザインにするなど、沿道の店舗などとも十分調整しながらこの事業をすすめてほしい。	
歩道に自動車が侵入し大きな事故を聞くことがよくある。 綺麗にするだけではなく、ガードレールなど安全性を第一に整備をお願いしたい。	本事業の実施にあたり、基本方針2の「安全・安心・快適」を実現するため、道路の景観整備に合わせ、歩道のバリアフリー化や交通安全対策等、安全性も考慮した整備を検討いたします。
駅前などではバリアフリーに配慮して人が歩きやすい歩道にしてもらいたいです。	

※お寄せいただいたご意見は、内容の要旨のみを表示させていただいております。

【事業計画に対する意見】	
快適な道路環境は大切かと思います。しかし既存の歩道、道路の補修もしっかりお願いいたします。 また、遊び心のある歩道を希望します。(例えばその地域のシンボル(区の花など)を歩道にあしらえる等)	路線毎の整備時期につきましては、補修のタイミング等も考慮して検討いたします。 頂いた御意見について、今後の参考にさせていただきます。
東京ストリートヒューマン1st事業とのことですが、なぜ名前がそんなに長いのですか?	
シンボルロード整備事業なのに、タイトルにシンボルロードの記載がなく、わかりづらい。 「東京ストリートヒューマン1st事業」というタイトルだけを見ると、ストリートパフォーマーへの支援と勘違いした。	人が中心で誰もが利用しやすく、多様な人々が集う快適で魅力ある歩行空間の創出を目指すことから、新たな事業名を「東京ストリートヒューマン1st事業」としております。
コロナという未曾有の危機の最中、今進めないといけない事業なのか。 現在の都民に、個性豊かで魅力的な道路の修景を楽しむ余裕が果たしてあるのか疑問である。 もちろん、今の状況が落ち着いたら、素敵なまちづくりを進めてもらいたいと思う。	新型コロナウイルスは人々の暮らし等に様々な影響を与えておりますが、コロナ禍における暮らしや働き方の新しい日常が定着し、中核的な拠点に加え、居住地周辺部においても、人々が行き交う新たな拠点が見込まれることから、魅力ある歩行空間の整備を進めてまいります。
P18の港区道のような整備事例があるように、都道だけでなく区道でも景観に配慮した道路整備が行われていると思いますが、今回の整備路線の中で、国道や区市道などとの一体的な整備を考えている路線があるのでしょうか。国道や区市道などと一体的に整備すべきエリアがあるならば、ぜひ国や区市などにも働きかけ、一体的な整備を行っていただきたい。	整備路線の選定において、指標②-1隣接する国道・都道・区市道等と一体的に整備すべき路線を 選定の指標としております。 頂いた御意見について、今後の参考にさせていただきます。
【路線に対する意見】	
東京駅前の広場は工事後にすごく開放感が出て綺麗になったと思った。 結婚式の写真を撮影している人も多いくらい、人気のスポットだと思う。 赤坂迎賓館前の素っ気ない道路がもったいないと思う。東京駅のように整備したらフォトスポットとして人気 が出ると思う。	整備路線につきましては、「拠点を形成するエリア」、「観光客で賑わうエリア」「乗降客数の多い駅周辺等のエリア」の3つの視点を基に、今後10ヵ年で工事着手する路線を選定しております。また、整備路線以外につきましても、地元要望や沿道開発の状況等により、必要に応じて道路の新設や拡幅、無電柱化事業等、歩道の改築を行う際に、各々の事業において道路の修景を検討することができることとしております。 赤坂迎賓館前の都道につきましては、頂いた御意見を今後の参考にさせていただきます。
【その他の意見】	
歩行者がメインの区市町村道もシンボルロード整備事業の対象にして、助成などをすれば更に景観が良くなると思う。	ご意見を参考にさせていただきます。

※お寄せいただいたご意見は、内容の要旨のみを表示させていただいております。